

まちづくり交付金 事後評価シート
壬生川地区

平成28年2月

愛媛県西条市

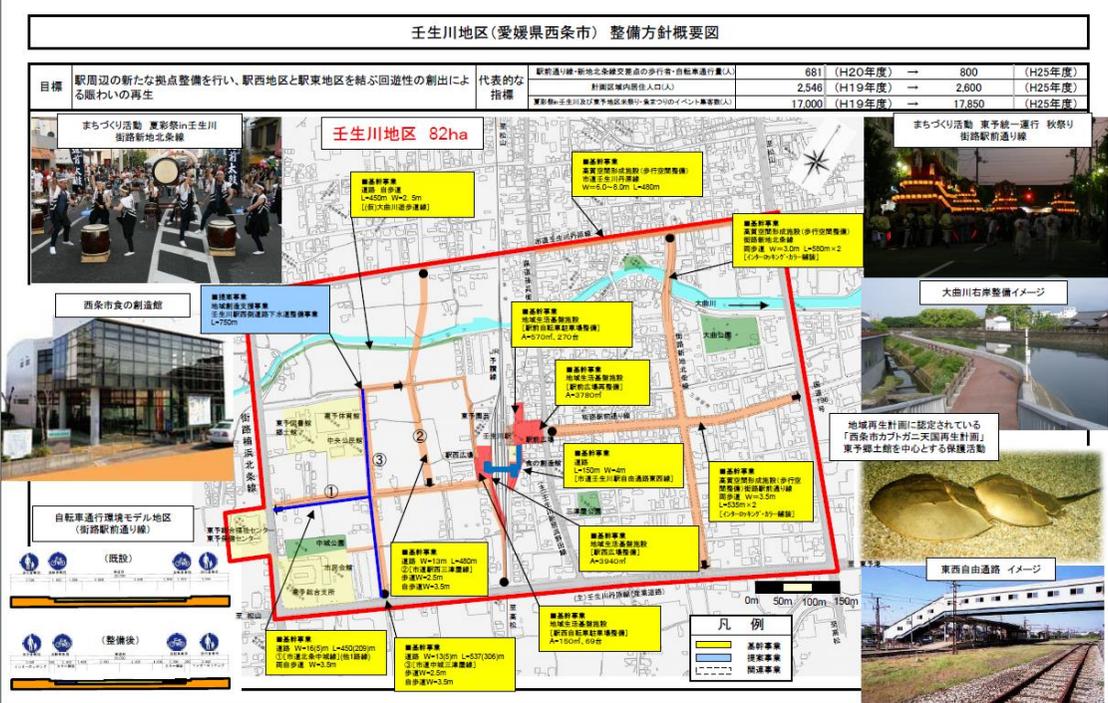
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	愛媛県	市町村名	西条市	地区名	壬生川地区			面積	82ha			
交付期間	平成21年度～25年度	事後評価実施時期	平成28年3月	交付対象事業費	2,500	国費率	0.4					
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名									
	基幹事業	市道改良事業(5路線)、地域生活基盤施設(広場、自転車駐車場)、高質空間形成施設(緑化施設等)										
	提案事業											
			事業名	削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
	当初計画から削除した事業	基幹事業	なし									
		提案事業	なし									
新たに追加した事業	基幹事業	市道壬生川丹原線	回遊性の確保や将来交通量を考慮して追加			影響なし						
	提案事業	壬生川駅西側道路下水道整備事業	道路整備に併せて、生活に必要な雨水排水及び汚水排水の整備を行うために追加			影響なし						
交付期間の変更	当初	平成21年度～平成25年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響									
	変更											
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
		単位		基準年度		目標年度	モニタリング	評価値				
	指標1	駅前通り線・新地北条線交差点の歩行者・自転車通行量	人/日	681	20	800	25	—	473	×	あり なし ●	
	指標2	計画区域居住人口	人	2,546	19	2,600	25	—	2,510	×	あり なし ●	平成28年4月
	指標3	夏彩祭in壬生川及び東予地区米祭り・魚まつりのイベント集客数	人	17,000	19	17,850	25	—			あり なし	算出条件が変わったため、目標指標から削除する。
指標4							—			あり なし		
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
		単位		基準年度		目標年度	モニタリング	評価値				
	その他の数値指標1	壬生川駅の乗降客数	人/日	1,464	19		—	1,507				
	その他の数値指標2											
その他の数値指標3												
4)定性的な効果発現状況												
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
	住民参加プロセス	壬生川駅西広場の整備においては、東予高校建設工学科の生徒にプランを作成してもらい、協働となる整備を実施した。		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				●				
	持続的なまちづくり体制の構築			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								

様式2-2 地区の概要

壬生川地区(愛媛県西条市) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
大目標: 駅周辺の新たな拠点整備を行い、駅西地区と駅東地区を結ぶ回遊性の創出による賑わいの再生	駅前通り線・新地北条線交差点の歩行者・自転車通行量	単位: 人/日 681 H20	800 H25	473 H27
目標1 新しい生活拠点として、中央公民館周辺及び壬生川駅周辺の整備を行い、集客力を高める。	計画区域居住人口	単位: 人 2,546 H19	2,600 H25	2,510 H25
目標2 生活拠点間を結ぶ回遊性のある道路整備を行い、来訪者が安心して行動できる環境づくりを行い中心市街地の賑わいを再生する。	夏彩祭in壬生川及び東予地区米祭り・熊まつりのイベント集客数	単位: 人 17,000 H19	17,850 H25	算出条件が変わったため、目標指標から削除する。
目標3 大曲川周辺は、水・緑に親しめる空間整備を行い、中心市街地でありながら自然を生かした環境を守り、住民の憩える空間としたい。				



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 駅西地区と駅東地区を結ぶ回遊性の創出により、既存商店街などの民間商業活動の活性化を図る。 拠点間を結ぶインフラ整備と連携して、回遊空間を利用した民間商業活動の活性化を図る。 壬生川駅前・駅西広場などを利用した定期的なイベントを開催し、駅周辺の更なる充実を図る。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 観光協会や地元高校生を中心として新たなイベントを模索し活性化を図る。 商店街の空店舗数の減少のため、チャレンジショップなどが気軽に営業できるような店主と商店街が一体となった体制が必要。